

目指す社会像

多様な社会参画が実現している社会（包摂性のある社会）

解決すべき
社会課題

- ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女兒の能力強化を行う（SDGsの5）
- 各国内及び各国間の不平等を是正する（SDGsの10）
- （前略）あらゆるレベルで効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する（SDGsの16）
- 少子高齢化や経済・社会の変化に対応した社会保障制度の国内における課題の解決（基本計画）

次期SIP
課題候補

【3 包摂的コミュニティプラットフォームの構築】

性別、年齢、障がいなどに関わらず、多様な人々が社会的にも精神的にも豊かで暮らしやすいコミュニティを実現するため、プライバシーを完全に保護しつつ、社会活動への主体的参加を促し、必要なサポートが得られる仕組みを構築する

必要と考えられる
基盤技術、共通
システム、ルール
などの例

<事例> ※次期SIPターゲット領域有識者検討会議の有識者や委託調査等で得られた事例。**RFIで提案いただく研究開発テーマはこれらに限られないが、この程度の粒度での提案を期待。**

- 子育て、介護、見守り、仕事との両立のためのサポート
- 子育て、介護等向けの柔らかいロボット
- 身体等障がい者向けの教育・就労支援技術
- 身体面だけでなく、精神面、社会面でのウェルビーイングの確保
- 幸せの定量評価
- 社会的包摂を進めるための国民の理解・行動変容を促す仕組み

参考となる施策、 関連文献等

- **OECD Better Life Index及び「How's Life? 2020」(幸福度白書2020) (OECD)**
 - 11カテゴリーから成る幸福度指標および将来の幸福度を支える資源に係る4つの指標を測定
- **Emotional well-beingの推進(米国国立衛生研究所)**
 - Emotional well-beingとは感情、生活満足度、意味や目的の感覚、自己定義した目標を追求する能力など、全体的にポジティブな状態。社会科学、行動科学、心理学、神経生物学等における学際研究を推進
- **「健康・医療戦略」(令和2年3月27日閣議決定、令和3年4月9日一部変更)**
 - 日本的介護のアジア展開、データ利活用基盤整備、新技術の医療・介護現場への導入に着目
- **孤独・孤立対策の重点計画(令和3年12月28日、孤独・孤立対策推進会議決定)**
 - 孤独・孤立は人生のあらゆる場面で誰にでも起こり得て、社会全体で対応しなければならない問題
 - 支援を求める声を上げやすい社会の実現、切れ目ない相談支援、「つながり」、NPO等の活動の支援に着目
- **コレクティブ・インパクト(共通のゴールを掲げ、互いの強みを出し合い社会課題解決を目指すアプローチ)**
 - コレクティブインパクトを用いており、かつ、包摂的なコミュニティとの親和性の高い事例を紹介
(令和2年3月、社会課題の解決における成果最大化に向けた協働の海外事例調査・内閣府)
- **各省で包摂性の観点を持って支援している新しい形態のコミュニティ・コンセプト**
 - 各地域がそれぞれに描く「ありたい姿」の実現に向けて、地域内外の多様な人材が活躍することによって、課題解決・価値の創出に取り組むコミュニティ(例：関係人口(総務省・内閣府・国交省)、全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」(内閣官房)、地域循環共生圏(環境省)等)
- **多様性・包摂性ある社会を踏まえた提言**
 - 人口減少・高齢社会への対応と、2050年に向けたより良い未来像の実現に向けた社会像として多様性・包摂性に着目して、論点を整理(例：多世代交流・共生のまちづくりに関する特別提言(平成28年6月、全国市長会)、「いのち輝く都市」を共創するKANSAIへ(令和3年4月、関西経済同友会))